

語学能力検定試験について

大学間学生交流協定または部局間学生交流協定による派遣留学を希望する方は、客観的に自らの語学能力を証明できるよう、各種の語学能力検定試験を早めに受験しておいてください。

【英語】

必ず TOEFL iBT または IELTS を受験すること。英語圏以外の大学に留学する者もできるだけ受験しておくこと。

実用英語技能検定（英検）および TOEIC は留学の際に語学能力の証明にならないことが多いので注意すること。

【英語以外】

日本学生支援機構のサイト等から、以下の通り例示する。詳細は各自で確認すること。

- ・日本学生支援機構海外[留学情報リンク集 [主な語学・学力テスト情報]

http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info_03_02.html

【中国語】

- 中国語検定試験

試験回数年 3 回（3 月、6 月、11 月）

<http://www.chuken.gr.jp/>

- 中国語コミュニケーション能力検定（TECC）

試験回数年 1 回（6 月）

<http://www.tecc.jp/>

【韓国語】

- 韓国語能力評価試験（KLAT（旧：KLPT））

試験回数年 3 回（5 月、10 月、12 月（オンライン試験））（平成 26 年度実績）

<http://www.kets.jp/>

- 韓国語能力試験（TOPIC）

試験回数年 2 回（4 月、10 月）

<http://www.kref.or.jp/examination>

【ドイツ語】

「TestDaF」と「DSH」など、主要な検定試験について説明があります。

<http://tokyo.daad.de/wp/faq-deutschkenntnisse/>

【フランス語】

別紙「大学間学生交流協定・部局間学生交流協定によるフランス語圏大学への派遣留学希望者に要求される語学力の基準について（文学研究科）」を参照のこと。